

たぐすい

TAKUSUI
No. 702

4

April.2015

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



姫路城 (姫路市)

JFぼうぜ姫路とれとれ市場 グランドオープン！ 栽培漁業稚魚の有償化について

《今月の海上安全標語》～ 正しい手順をお願いします～

心肺停止の人を救助する際に使用するAED。

だから心臓が動いている人に使ってはいけません。使用前には呼吸の有無を確認しましょう。

慌てるな! 呼吸見てから ^{エーイーディー}AED では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようこそとは航海用語で「宜しく候」の意。
主に船を直進させるときの号令として使われる)

まぼろし?の1枚

兵庫県漁業信用基金協会 主査 右柳 加奈子



ついに「ようこそ」の順番が回ってきた!

さて、何を書けばよいか迷いに迷っていると、随分前に拓水の表紙写真を提供したことを思い出しました。

その候補の中に「アンコールワット遺跡」の写真があり、とても気に入っていたのですが、拓水の表紙には的外れだったのか見送られたようです。幸いデータが候補写真一覧の中に残っていたので、久々に見るとなつかしく、楽しかった旅行を思い出しました。

旅行に行ったのは、かれこれ10年近く前のことです。母と妹の3人で訪れました。団体旅行なのですが、いざ現地に着いてみるとツアー客は私達3名だけ…。当時は長らく続いた内戦がようやく終わり、観光都市に向けてホテルや道路の建設ラッシュで日本人観光客もまばらでした。アンコール遺跡群の1つであるアンコールワット遺跡は、遺跡群の中で最も大きく、三つの塔が並んでいます(カンボジアの国旗にも描かれています)。歴史や時代背景など何も予習せずに行ったのですが、その偉大さに感動しました。朝焼けのアンコールワットは、空がピンク色に染まり、その中に浮かぶ遺跡はなんとも神秘的です。日本で言う春分・秋分の日(昼と夜が同じ長さになる)には、太陽が塔の中心から昇っていくそうです。遺跡の前には池があり、そこに逆さ富士ならぬ、逆さ遺跡が映り、運よくカメラに収めることができました。ここでは観光もさることながら、食事も美味しいのです。味はタイ料理とベトナム料理の中間といったところでしょうか。魚料理は主に川魚で、私たちはナマズの煮込み料理を食べました。こちらはなかなか独創的でありましたが、他はどれも美味しく3人も太って帰りました。人も温かく、また是非訪れたい国の一つです。



たくさん撮った写真は自宅のパソコンが壊れデータがなくなり、残るのは拓水候補だったこの1枚だけ。これは、拓水の表紙にしなさいと言うお告げ…か? (笑)、いや、もう一度訪れる運命なのかと思ひ、旅行サイトを楽しみながら見えています。

予定は未定ですが……。

(編集部より…当時、6000号を記念して6000号・601号合併号としたため、まぼろしの601号表紙写真となったようです。スママセン……)

CONTENTS

No.702 April. 2015

- 2 ようこそ
- 3 但馬地区ズワイガニ漁終了
兵庫JCC協同組合研究・交流会
- 4 JFぼうぜ姫路とれとれ市場 グランドオープン
- 5 自民党大会でJF2団体が表彰されました
- 6 栽培漁業における種苗の有償化について
- 7 兵庫県農政環境部 農林水産局 水産課 & 漁港課 配席図
- 8 ポートパーク利用者に「マリン安全講習会」
新書のご案内
- 9 映画「種まく旅人 くにうみの郷」
海難事故をなくそう
- 10 兵庫JCC通信
- 11 旬に想う
大輪田塾だより
- 12 第37回 全国海の子絵画展で県内の2作品が入賞



表紙の言葉

「姫路城」(姫路市)

真っ青な空に白亜の天守閣とブルーインパルスの白い雲。およそ5年半に及ぶ「平成の大修理」を終え、3月27日(金)に大天守内部が一般公開された世界遺産・国宝 姫路城。公開前日の26日には完成記念式典が行われ、航空自衛隊アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が雲一つない空を祝賀飛行し、式典に花を添えました。

ブルーインパルスが姫路を飛ぶのは、前回の「昭和の大修理」を終えたのち開催された姫路大博覧会(昭和41年)以来となる49年ぶり。この日は祝賀飛行を一目見ようと約6万人の人が訪れ、駅から城までの間、大勢の人で賑わいました。

4月には新しくなった天守と満開の桜を見に来る人で大いに賑わいます。

但馬地区ズワイガニ漁終了

但馬地区の冬の基幹漁業であるズワイガニ漁は3月20日(金)で漁期を終え、最終セリが21日(土)にJF但馬津居山・柴山漁港で行われました。

今漁期の総漁獲量は1,186トン(前年比102.9%)

で、オスガニ(松葉ガニ)578トン(前年比99.6%)・メスガニ451トン(110.7%)・ミスガニ157トン(95.7%)となりました。



総漁獲金額は38億5,600万円(前年比112.4%)で、うちオスガニ(松葉ガニ)の漁獲金額は27億4,130万円となり、統計を取り始めた昭和50年度以降の過去最高となりました。

オスガニの単価が上昇した理由については、ロシア産ズワイガニの輸入量が減少し需要が高まったことが要因ではないかとされています。

兵庫JCC協同組合研究・交流会

～コープこうべの取組みについて学ぶ～

(一財)兵庫県水産振興基金

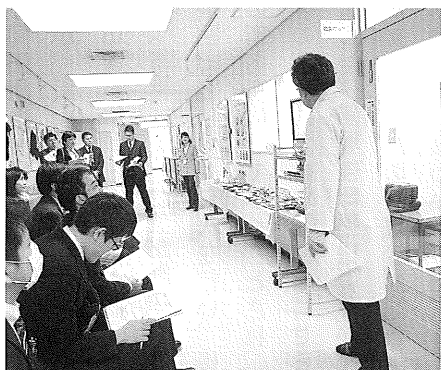
生協・JA・JF・森林組合で構成する兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、各協同組合がお互いの事業・活動を学習・共有化して、今後のさらなる協同・連帯を促進することを目的に、2008年度より「兵庫JCC協同組合研究交流会」を毎年開催しており、近年は各協同組合の現場見学を行っています。

今年度は3月9日(月)に生活協同組合の取組みをテーマに神戸市で開催され、県内各地から農業・林業・水産業・生協等の関係者ら約30名は、生活協同組合コープこうべの3施設の見学を行いました。六甲アイランド食品工場は単独の生協が運営する唯一の工場で、パン・麺類の製造工程を見るときにも安心安全への取組み、リサイクル率96%を達成する環境配慮型工場として稼働していることなどを学び、魚崎浜要冷蔵センターでは組合員向けの個人別出荷をするシステムを見学しました。

商品検査センターは、食品から衣類まで様々な商品の検査を行うとともに、組合員からの質問・相談に応じる機関でした。放射能測定や食品検査について説明を受けたほか、生活用品の具体的な相談事例紹介など組合員の安心安全をサポートする体制について学ぶことができ、参加者は生協の取組みについて理解を深めました。



パンの製造工程を見学



商品検査センターでの研修



物流の現場も見学

JFぼうぜ姫路とれとれ市場 グランドオープン!

~姫路市の魚食発信基地として期待~

(一財)兵庫県水産振興基金



テープカットを行う岡田組長(右から2番目)

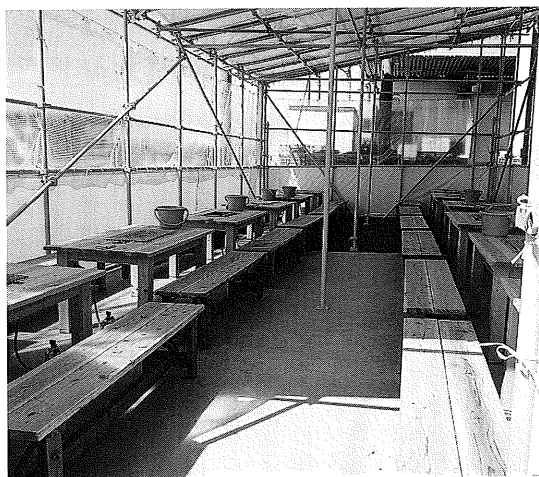
870㎡で敷地面積は約1,860㎡の広さで、同JFで水揚げされ

買った魚は捌いて

3月25日(水)、姫路市妻鹿漁港に「JFぼうぜ姫路とれとれ市場」がグランドオープンしました。家島町水産物荷捌所に隣接するこの施設は、平屋建て約106席で地元水産物を使った丼などが提供されるほか、外にはバーベキューコーナーも完備し、

る水産物の直売と食事が出来るものです。直売コーナーは1t丸水槽3基、5m×1mの長水槽2基、ナマコや貝類などの多段水槽1基、お造りなどを並べる冷蔵・冷凍ショーケースを配置し、水産物のほか生鮮野菜、農産加工品なども販売されます。飲食コーナーは106席で地元水産物を使った丼などが提供されるほか、外にはバーベキューコーナーも完備し、

もらい飲食コーナーで食べることも可能です。他に映像を使って坊勢の漁業等の情報を発信するなど坊勢の魅力を満喫することが出来る施設となっています。記念式典ではJF・行政の関係者も多く訪れるなか、JF坊勢岡田武夫組長、姫路市石見



建物外部にはバーベキューコーナーを併設



多くの人で賑わう店内



飲食スペースも106席とゆったり

で岡田組長は「魚ばなれが進むなか、安くて美味しい魚を提供していきたい」と、また、石見市長は「お城、お酒、お魚が姫路の名物。姫路市としてもPRを行い、姫路の新名所にしていく」とされ、今後の運営に大きな期待を寄せられました。開場後は平日にもかかわらずたくさんの方々が訪れ、店内は大いに賑わいました。JF関係者によると、ここで働くスタッ



店内で目を引く3段の水槽

フは坊勢島の方が中心で、島の雇用確保に貢献しており、今後は観光漁業等の拠点としての活用も視野に入れているとのこと。
妻鹿漁港にはこの施設のほかに、毎週日曜日開催の家島とれとれ屋市、JF姫路市や家島町の加工業者による直売・飲食店舗などが立ち並び、今後、姫路市の水産物情報発信の基地として活用が期待されています。

JFぼうぜ姫路とれとれ市場

姫路市白浜町字万代新開甲

電話番号 079-246-4199

	平日・祝日	日曜
直売施設	9時～17時	7時30分～16時
飲食施設	11時～16時	11時～15時

定休日 毎週水曜日、年末年始（12月31日～1月4日）



自民党大会でJF2団体が表彰されました

（二財）兵庫県水産振興基金

3月8日（日）、東京都内のホテルで第82回自由民主党大会が開催され、席上、JF全漁連（岸宏会長）およびJF兵庫漁連（山田隆義会長）が友好団体として安倍晋三総裁から表彰されました。JF兵庫漁連は自民党兵庫県連からの推薦で表彰され、関係者によれば漁業団体が大大会で表彰されたのは初めてのことで、党大会は2日間かけて行われ、3千人を超える出席者がありました。



記念撮影に臨む山田会長（最前列左端）

栽培漁業における種苗の有償化について

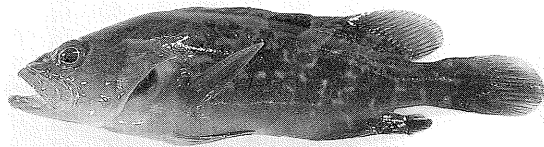
兵庫県農政環境部農林水産局水産課

本県ではこれまで、アワビ、サザエを除く全ての魚種について放流用種苗の無償配布を行ってききましたが、兵庫県第7次栽培漁業基本計画（平成28年度～34年度）の策定にあわせて種苗の有償化を検討しています。

1 これまでの経費負担について

本県の栽培漁業は、県と水産業界が役割分担して実施してきました。

種苗生産は、魚類（マダイ・ヒラメ等）は県が、甲殻類等（ガザミ・クルマエビ）は（公財）ひょうご豊かな海



キジハタ種苗（新規）

づくり協会（以下、「協会」という。）が、貝類（アワビ・サザエ）は県と協会が共同で実施してきました。中間育成は、業界（協会、市町及び業界）が実施し、県は技術指導を行ってきました。

栽培漁業にかかる経費も役割分担を考慮して負担してきました。種苗生産のうち、魚類は県が、甲殻類等は協会が負担してきました。貝類では、人件費は県が、人件費以外の経費（電気代、餌代等）は市町又は漁業者団体が負担してきました。中間育成に係る経費は、協会、市町及び業界が負担してきました。

2 有償化する理由（財政問題を背景とした受益と負担の見直し）

県では、阪神・淡路大震災の復興により悪化した財政の改善を図り、持続可能な行財政構造を確立するため、平成11年から行財政構造改革を進めており、平成20年10月に制定した「行財政構造改革の推進に関する条例」に基づき、平成26年3月に3回目の見直しとなる「第3次行革プラン」を策定しました。行革プランでは、行財政構造改革の視点の1つとして行政サービスの受益と負担の適正化を定める一方、県



アサリ種苗（新規）

と密接な関係にある公社等は改革の基本として、行政サービスや事業の見直し、運営の効率化や経営改善の徹底を定めています。

栽培漁業については、効果的な種苗放流の検討、漁業者ニーズに見合う種苗生産の実施等と併せて、協会の事業収益の確保に向けて種苗（魚類・甲殻類等・貝類問わず）の有償化の検討を定めています。

3 提案する具体の単価案

平成28年度から、以下の表の単価を設定します。

これまで有償で配布してきたアワビ・サザエは、生産実績をもとに経費を確認し、アワビは値上げを、サザエは据え置きとしました。新規魚種であるカサゴ・キジハタは、人件費以外の経費をもとに単価を設定しました。これ

4 その他（進め方など）

夏にかけて、市町を通じて平成28年度の種苗の要望調査を実施することとしています。各浜で必要な魚種、数量について検討を進めていただきたいと思います。

栽培漁業が瀬戸内海で始まって50年が経過しました。今回の有償化を通じて、より効果的な栽培漁業を目指す大きなきっかけとしたいと考えています。

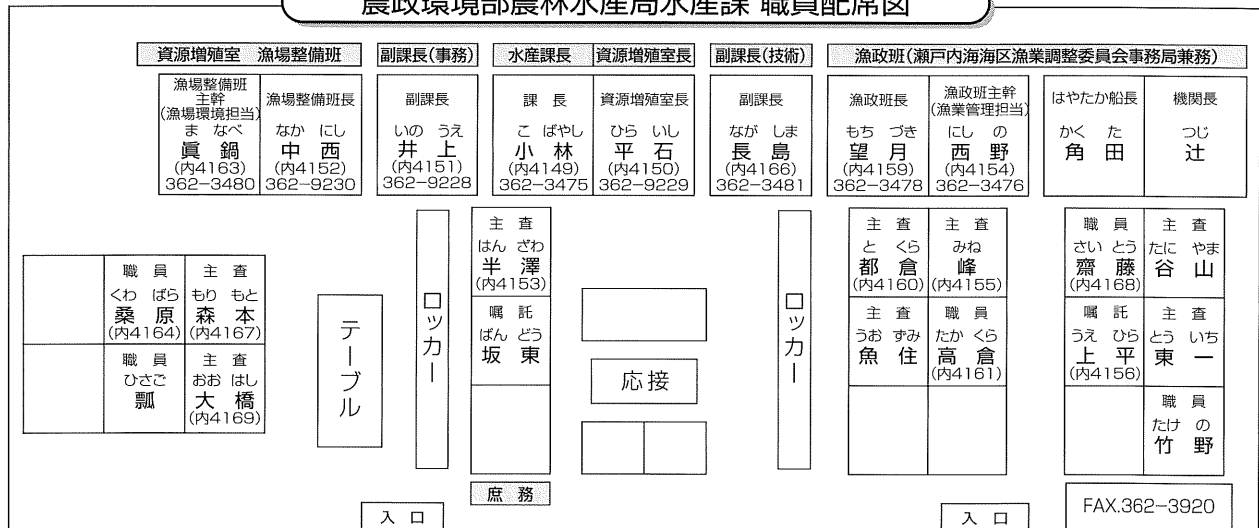
魚 類				貝類・甲殻類等		
魚 種	サイズ	単価案		魚 種	サイズ	単価案
既存魚種	マダイ	20mm	1円/尾	既存魚種	アワビ	20mm 50円/個
	ヒラメ	20mm	1円/尾		サザエ	7mm 10円/個
		35mm	2円/尾		サザエ	15mm 15円/個
	マコガレイ	20mm	1円/尾		ガザミ	4mm 0.1円/尾
オニオコゼ	15mm	1円/尾	クルマエビ類		15mm 0.1円/尾	
新規魚種	カサゴ	20mm	30円/尾	アカウニ	10mm 10円/個	
		40mm	40円/尾	新規魚種	アサリ	5～10mm 300円/kg
キジハタ	50mm	100円/尾	アサリ		20mm 1円/個	

※消費税は内税で記載している。

まで無償だったマダイ・ヒラメやガザミ・クルマエビは、受益者に負担頂きたい額として単価を設定しました。

兵庫県農政環境部 農林水産局 水産課 & 漁港課 配席図

農政環境部農林水産局水産課 職員配席図



漁場整備班(漁場環境担当)

- ①漁場整備開発事業に関する事
- ②豊かな海の再生に関する事
- ③漁場環境の保全に関する事
- ④離島漁業の支援に関する事
- ⑤水産物の安全確保に関する事
- ⑥保護水面の管理に関する事

漁場整備班(水産普及担当)

- ①水産業の試験研究に関する事
- ②水産業の普及指導及び普及指導員の資質向上に関する事
- ③水産物の流通加工に関する事
- ④水産関係統計の管理に関する事
- ⑤栽培漁業の推進に関する事
- ⑥養殖業の振興に関する事
- ⑦(公財)ひょうご豊かな海づくり協会に関する事

漁政班(庶務)

- ①課の庶務に関する事
- ②総務課との連絡に関する事
- ③文書及び公印の保守に関する事
- ④但馬水産事務所との連絡調整に関する事
- ⑤課内各班に属さないこと

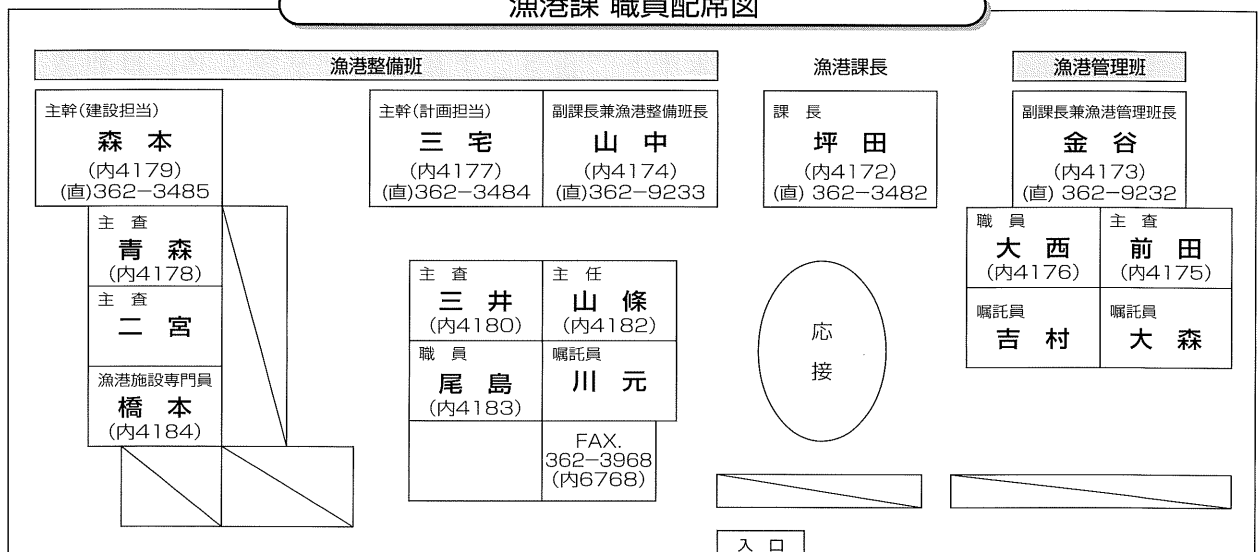
漁政班(組合指導担当)

- ①水産業協同組合の指導、監督に関する事
- ②漁業協同組合の合併推進及び経営基盤強化に関する事
- ③水産制度金融に関する事
- ④漁業共済に関する事
- ⑤漁業信用保証に関する事
- ⑥産地市場に関する事
- ⑦(財)兵庫県水産振興基金に関する事
- ⑧浜の活力再生プランに関する事
- ⑨漁業コスト構造改善緊急対策に関する事

漁政班(漁業管理担当)

- ①水産行政の企画立案及び調整に関する事
- ②漁場計画立案及び漁業免許登録に関する事
- ③漁業の許可及び漁業調整に関する事
- ④内水面漁業の振興に関する事
- ⑤海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会に関する事
- ⑥漁船に関する事
- ⑦漁船損害等補償法に関する事
- ⑧漁業取締りに関する事
- ⑨遊漁船業の適正化に関する事
- ⑩遊漁対策に関する事
- ⑪漁業無線局に関する事
- ⑫水産資源管理対策に関する事
- ⑬漁業に係る災害関連情報に関する事
- ⑭海洋開発事業と漁業の調整に関する事

漁港課 職員配席図



漁港整備班

- ①漁港及び漁港海岸の整備計画及び調査に関する事
- ②漁港施設用地の計画及び調査に関する事
- ③海岸統計に関する事
- ④県管理の漁港及び漁港海岸事業の実施に関する事
- ⑤市町管理の漁港及び漁港海岸事業の指導監督に関する事
- ⑥漁港の災害復旧に関する事
- ⑦漁業構造改善事業に関する事
- ⑧水産物の流通加工対策に関する事
- ⑨共同利用施設の管理運営に関する事
- ⑩共同利用施設の災害復旧に関する事
- ⑪漁港漁村における地域活性化施策推進に関する事
- ⑫漁港港勢調査に関する事

漁港管理班

- ①漁港、漁港海岸利用の占使用事務に関する事
- ②漁港及び海岸保全区域における国有財産に関する事
- ③県営漁港財産の取得、管理及び処分に関する事
- ④漁港及び漁港海岸の指定及び管理に関する事
- ⑤漁港及び漁港海岸の事業事務に関する事
- ⑥プレジャーボート対策の総合調整に関する事
- ⑦文書及び公印の保守に関する事
- ⑧課内各係に属さないこと

ボートパーク利用者に「マリン安全講習会」 ～ノリ漁場侵入事故の防止へ 理解を求める～

(一財)兵庫県水産振興基金



3月9日(月)には、同NPO主催のマリン安全講習会が明石市で開催され、明石市二見地区から加古川市尾上地区の県有ボートパークを利用して約70名が出席しました。この講習会は毎年実施され、今年も加古川海上保安部、県土木事務所、PBメーカーなどが安全航行やエンジンの点検整備などの講義を行ったほか、漁業団体からはJF西二見山本章組合長が「ノリ養殖施設への侵入事故防止について」としてノリ養殖漁場への侵入回避を訴え、理解を求めました。また、

漁連の3者が発起人となり設立されたもので、現在、35会員が所属し、プレジャーボート(PPB)の保管管理や海難事故防止関係等の活動を行っています。JF兵庫漁連はPBと漁業のトラブルを軽減することを目的に漁業の情報発信の場として、また、PB全船の保険加入を促す機会づくりを期待して参加しています。

NPO瀬戸内海の水域の秩序ある利用を進める会(植本勝廣理事長)は平成13年7月、県港湾課の先導で日本マリーナビーチ協会兵庫支部、関西マリン事業協会関西支部、JF兵庫

兵庫県内海漁船保険組合 沢田義典専務から船主責任制限法の改正(*)とPB保険の関係等を説明し全員の保険加入を呼びかけたほか、各船主にノリ漁場図を配布し、あらためて漁場侵入への注意喚起が行われました。

法人設立の背景には国の放置艇対策があり、平成10年に当時の運輸省(港湾局)、建設省(河川局)、水産庁の3省庁が発表した「公共用水域におけるPBの係留・保管対策に関する提言」や同13年春「小型船舶の登録等に関する法律」の成立など動きを受けて、県(港湾課・河川課)は、東播磨港や河川域など公共用水域に不法係留するPB約7,300隻(当時)の秩序化をめざし、県営ボートパークの整備を進めました。その施設の管理委託先の受け皿団体としてNPOの立ち上げを促したものです。全国に例のない組織と注目されましたが、近年、県の放置艇対策が進まないなか、法人設立の経緯に関係なく管理手法の変更や、県への高額な納付金などで厳しい運営が続いています。

【船主責任制限法(*)の改正】

12年4月国際海事機構(IMO)で採択された'96年の海事債権条約に基づく船主責任制限額を1.51%引き上げる条約が、今年6月8日に発効する。これに準拠して政府は「船舶所有者等の責任の制限に関する法律」の改正手続きを進めており、去る2月17日、法務省から一部改正法律案が国会に提出された。条約が発効する6月8日の施行を目指している。この一連の動きについては、本誌697号(14年11月号)で詳しく説明されており、参照されたい。なお、今回の法改正で船主責任限度額が底上げされるが、残念ながら一般貨物船による燃料油流出事故では、ノリ養殖漁場の実害は依然カバールしきれないという課題は残る。例えば、2千トン以下の貨物船による物損事故では、責任額の上限は現行100万SDR(1.8億円)で、改正後は151万SDR(2.7億円)に引き上がる。しかし、2千トン近い船の主機燃料積載量を平均150㎥(ドラム缶750本)と想定すると、決して侮れない。船舶事故が起これないことを祈りつつ、万一の事故に備えて本県が提案要望している災害対策基金の創設に理解を求めたい。(U/I)



る法律」の改正手続きを進めており、去る2月17日、法務省から一部改正法律案が国会に提出された。条約が発効する6月8日の施行を目指している。この一連の動きについては、本誌697号(14年11月号)で詳しく説明されており、参照されたい。なお、今回の法改正で船主責任限度額が底上げされるが、残念ながら一般貨物船による燃料油流出事故では、ノリ養殖漁場の実害は依然カバールしきれないという課題は残る。例えば、2千トン以下の貨物船による物損事故では、責任額の上限は現行100万SDR(1.8億円)で、改正後は151万SDR(2.7億円)に引き上がる。しかし、2千トン近い船の主機燃料積載量を平均150㎥(ドラム缶750本)と想定すると、決して侮れない。船舶事故が起これないことを祈りつつ、万一の事故に備えて本県が提案要望している災害対策基金の創設に理解を求めたい。(U/I)

● 新書のご案内

現在、(株)地人書館から「海と湖の貧栄養化問題～水清ければ魚棲まず～」が発売中です。

1970年代の日本の各水域で富栄養化の進行による赤潮が発生し、水質改善の努力がなされ成果が上がりました。しかしその一方で、瀬戸内海をはじめとした水域において、窒素・リンなどの栄養塩が減少する「貧栄養化」が原因と思われるノリの色落ちや漁獲量減少が報告されています。

この本は、瀬戸内海、諏訪湖、琵琶湖における水質浄化の取り組みや、長年にわたる水質データ、生態系の変化などから貧栄養化の発生原因やメカニズムを浮き彫りにし、今後とるべき対策を探ります。

編著者は山本 民次氏(広島大学大学院生物圏科学研究科教授)・花里 孝幸氏(信州大学山岳科学研究科教授)で、反田 實氏(兵庫県立水産技術センター参与)、鷲尾圭司氏(水産大学校理事長)も執筆されています。

● A5判：208頁：価格2,592円(税込)

● 出版社：(株)地人書館編集部 TEL 03-3235-4422



映画「種まく旅人 くにうみの郷」～上映劇場は 県内3カ所で決定～

淡路島を舞台にした映画「種まく旅人 くにうみの郷」では、漁業者と農業者が共同しておこなう「かいぼり」やノリ養殖が紹介され、島内漁業者も撮影に参加しました。4月24日（金）には県及び県議会関係や漁協等関係者を対象に特別試写会が神戸市内で行われます。

5月30日に全国一斉ロードショーとなるこの映画を是非ご覧ください！

配給：松竹(株) 宣伝：松竹(株)メディア事業部
www.tanemaku.jp

兵庫県内の上映劇場について

兵庫県内では下記の3カ所で上映が行われます。
(県外の劇場は「種まく旅人 くにうみの郷」ホームページ
(www.tanemaku.jp) をご覧ください)

- ① 神戸国際松竹
神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館11階
- ② MOVIXあまがさき
尼崎市潮江1-3-1 あまがさきキューズモール4階
- ③ 洲本オリオン
洲本市本町5-4-8

※洲本オリオンは平成25年10月より通常の映画上映はされていませんが、この映画のみ営業いたします。



©2015「種まく旅人 くにうみの郷」製作委員会

2015年5月30日より 全国ロードショー

海難事故をなくそう！

ライフジャケットを 着用しよう！

固型式ライフジャケットはメンテナンスが要りません。
最近、軽くて動きやすいように工夫されています。
是非どうぞ！



固型式ライフジャケット
モデル：JF兵庫漁連資材部 土井 俊彦さん

～安全をサポート～ 浮力合羽はお持ちですか？

JF兵庫漁連が開発したもので、浮力は十分あります。
※ライフジャケットではありませんので、一人乗りの漁船の場合、
ライフジャケットを
着用してください。



モデル：
兵庫県農林水産局水産課
長島 浩 副課長

浮きます！

ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連資材部(078-942-9272)までお問い合わせください

援農隊がカーネーションの 手入れに奮闘 JA淡路日の出

全国農協観光協会が企画する農業支援ボランティア(援農隊)が3月5～7日の3日間、淡路市内のカーネーション農家を訪れ、わき芽取りや収穫した花の手入れなどを手伝いました。大阪や奈良などの関西圏からの13人と関東からの4人が5戸の農家に分かれて、農作業に取り組みました。淡路島のカーネーション農家への支援は6回目。リピーターも多く、参加者は慣れた手付きで作業していました。

参加者からは「自然に囲まれた中で、きれいな花のわき芽をポキポキ折っていくのが楽しいです」「初めて参加したが、色々な手が入って一つの花になると実感しました」といった声が聞かれました。

受け入れ農家の砂川明正さんは「毎年来てくれる人もいて、テキパキと作業をしてくれています。助かります」と話しました。



作業を進める援農隊と農家の砂川さん(右)



活動紹介に見入る参加者

地方消費者グループ・フォーラム in 滋賀 広げよう連携の輪 ～消費者の安全・安心を地域から～

2月4日(水)、ピアザ淡海(滋賀県大津市)にて「平成26年度 地方消費者グループ・フォーラム in 滋賀」が開催され、地域の消費者問題に関わる市民、消費者団体・行政関係者など約150人が集い、兵庫県、神戸市、兵庫県生協連の会員生協や事務局も参加しました。このフォーラムは、近畿地域での「消費者市民社会の実現」にむけての活動につながることを目的に開催され、「広げよう連携の輪～消費者の安全・安心を地域から～」をテーマに情報交換を行い、連携を深め、連携の輪を広げるために行われています。開会にあたり消費者庁 板東 久美子 長官は、消費者教育の重要性に加え、消費者問題に取り組んでいる各団体の連携の重要性について話されました。19の各団体・行政による壁新聞交流の展示や、14団体による「壁新聞リレー紹介」の報告や寸劇で、それぞれの活発な活動が紹介されました。

その後、「見守りは地域から」「消費者教育の推進」「子どもの安全・安全の確保」などの3つの分科会では事例報告と意見交換が行われ、消費者一人ひとりが、消費者問題について「気づく」「伝える」ために、さまざまなネットワークで人と人が「つながっていく」ことを感じる一日となりました。



壁新聞ブースで説明に耳を傾ける消費者庁 板東 久美子 長官



旬

に想う

写真と文
遊方子

家紋歳時記

◆神戸新聞に《家紋歳時記》という連載コラムが一年続いた。解説が要領よく読み物としても楽しかった。家紋の歴史は凡そ千年という。その発生を溯ると縄文の土器に至るらしいが、平安末期に貴族が牛車の目印とした《巴紋》が原形であるようだ。家の紋章として貴族から武家へと広がり、やがて庶民の家々にも紋章が生まれ、日本の文化として根付いたようだ。植物・動物・器具などが色々の文様となっていて感心する。家紋など知らぬという御仁も、自分の家の墓石を見れば家紋の刻印に気づく筈だ。因に筆者の家紋は「丸に木香」、家内の実家は「剣酢漿草」が刻んである。どんな由縁なのかは定かではないが…。

◆菊の花は、中国で梅・竹・蘭と共に四君子と呼ばれ、花の姿や香りの気高さが人々に愛されている。日本の皇族が家紋とし、何れも菊花を少しずつ変化させ家紋にしておられる。菊は後鳥羽天皇が愛し、日用品にも菊花紋を付け賞でられたそうだが、明治二年に正式な皇室紋章となり一般の使用が禁じられた。旅券表紙に掲げる「十六弁菊花紋」である。漱石は『硝子戸の中』に家の定紋は「井桁に菊」で、以前の住所・喜久井町の町名は、この紋に由来すると述べているが、漱石の眠る墓石は「菊菱紋」を刻んでいる。替え紋の類いであるらしい。

◆松本清張の『家紋』という短編は、父母を殺害された幼児が十八年後に真犯人を推測する話で、その切っ掛けが家紋である。幼時の微かな記憶で提灯に描いた「揚羽蝶紋」から犯人を手繰る短い話なのだが、提灯は今では珍しく、揚羽蝶の紋だった事で印象に残ったようだ。『此の紋所が目に入らぬか…』とTV時代劇『水戸黄門』で、印籠の「葵紋」が大写しになった。徳川将軍家、御三家など松平氏の血筋家系のみが使えた家紋であり、水戸・尾張・紀伊の御三家では、少しずつ意匠を変えて、似て非なる紋様に作り変えてあるそうだ。

◆「字紋」や「文字紋」は縁起や信仰や吉兆等を考えて作られ、随分と種類が多い。仮名文字や漢字でズバリ表現したり、楷書や行書・梵字や印形紋もある。「大一大万大吉」と吉祥文字を並べたのは、秀吉に仕えた石田三成の紋だ。武將の紋所は勇ましいのが多く、黒沢明監督『蜘蛛巣城』では軍神毘沙門天の使い「百足紋」を旗印とした武者が活躍する。出足の多さと常に前進という俗信から商家も使っている。「巴紋」は記録に残る最も古い紋で、平安末期に貴族が牛車につけたのが初めだそうだが、神社の紋としても多く、兵庫県では3割近い神社で見られる。流水や雲形に暗示を受けたというが、何を描いたのか。

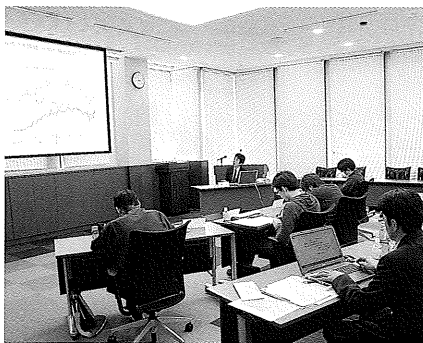
大輪田塾だより

漁業共済と水産物消費について

3月の大輪田塾は24日(火)に「漁業共済について」と「水産物の消費と流通」の2課題を開講しました。

「漁業共済について」はJFぎよさい兵庫 福本 好宏参事と猿橋孝治室長が講義を行いました。先ず福本参事が、共済の成り立ちから、組織や制度の仕組みについて話されたあと、猿橋室長からは新積立プラスについて説明があり、塾生は理解を深めました。

続く「水産物の消費と流通」では県但馬水産事務所水産課 水田 章水産業専門技術員が講義を行いました。水産物の消費と流通に関するデータ分析や、講師自ら携わった但馬地区の水産物を使った取組みの紹介から「消費者は魚を食べることを避けているわけでない」とされ、今後の漁協系統挙げての連携した取り組みに期待をされました。



水産物の消費動向について説明する水田水産業専門技術員



漁業共済について講義をおこなう福本参事(左)と猿橋室長

4月の大輪田塾

28日「漁船法概要」と瀬戸内海の栄養塩に関する講義

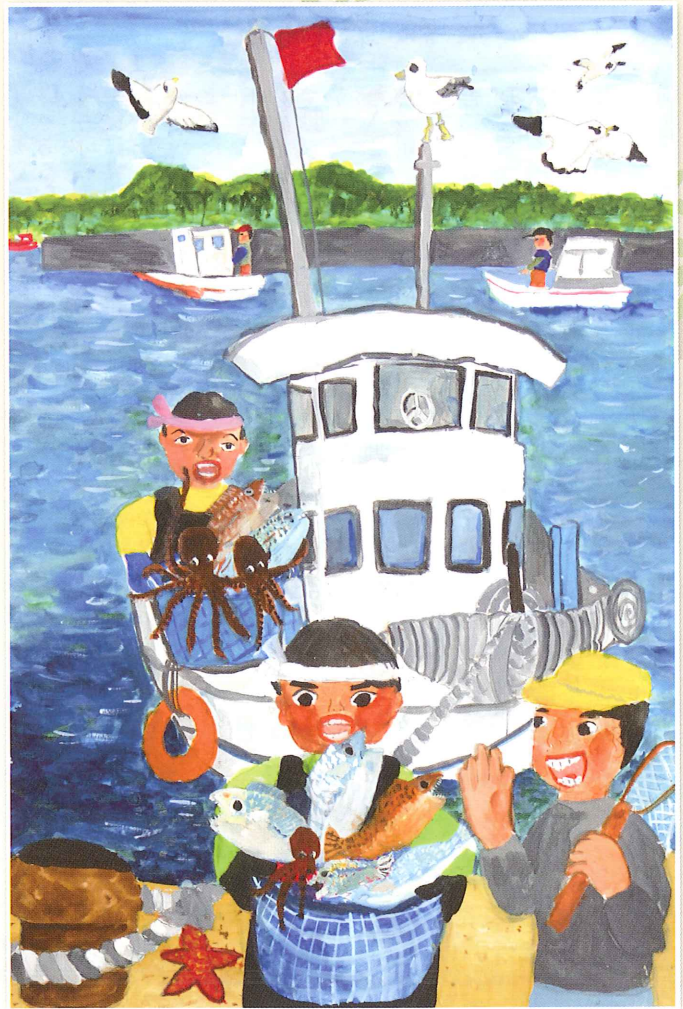
(於…水産会館)

県内の2作品が入賞!

JF兵庫漁連・
JF兵庫女性連

昨年12月に決定した「ひょうご海の子絵画」受賞作品(拓水No700号:H27, 2月号参照)がJF全漁連主催「第37回全国海の子絵画展」に出品され、審査の結果、南あわじ市立北阿万小学校4年 中野 喬佳さんが「日本放送協会会長賞」を、洲本市立洲本第一小学校1年 山岡 和生さんが「教育美術振興会理事長賞」を見事に受賞しました。

今回の絵画展は、全国約22,000点(参加校約900校)の応募の中から、各県で選ばれた137点が全国展に出展され審査が行われました。表彰式は東京・コープビルで3月26日(木)に開催され、特別賞入賞者28人の一人ひとりに賞状が手渡されました。



日本放送協会会長賞

南あわじ市立北阿万小学校4年 中野 喬佳さんの作品



教育美術振興会理事長賞
洲本市立洲本第一小学校1年 山岡 和生さんの作品

